

教育目標

少子高齢社会は年々急速に進み、それに伴い障がいを持つ方たちも多くなっています。その方たちを支えるために必要とされることは、医療や福祉に携わる優れた人材を育てることです。そのために本校では建学の理念をもとに、以下の教育目標を掲げています。

1. クライエント（対象者）の信頼を得ること。
2. 卒業生が進んでいく医療・福祉分野の信頼を得ること。

卒業後、対象者の方に「この人に担当してもらってよかった」と言われる学生。医療・福祉業界より「この人を採用してよかった」と言われる学生。私たちはそんな学生を育てたいと考えています。

学校の沿革

1992年	1月	学校法人神戸滋慶学園を認可される。
	4月	言語聴覚士・社会福祉士を養成する神戸医療福祉専門学校を開校する。
1994年	1月	神戸医療福祉専門学校中央校を認可される。
	3月	介護福祉士科を厚生省より認可される。
	4月	医療福祉・介護福祉士を養成する神戸医療福祉専門学校中央校を開校する。中央校開校に伴い、神戸医療福祉専門学校を神戸医療福祉専門学校須磨校と校名変更する。
1997年	3月	神戸医療福祉専門学校三田校 救急救命士科・義肢装具士科を厚生省より設置認可される。
	4月	神戸医療福祉専門学校三田校を開校。
1998年	12月	神戸医療福祉専門学校須磨校 言語聴覚士科を厚生省より認可される。
2001年	4月	神戸医療福祉専門学校三田校 理学療法士科を厚生労働省より認可され、開設する。
2002年	4月	神戸医療福祉専門学校中央校 精神保健福祉士科を厚生労働省より認可され、開設する。
2003年	4月	神戸医療福祉専門学校中央校 鍼灸科を厚生労働省より認可され、開設する。
2008年	4月	神戸医療福祉専門学校三田校 義肢装具士科4年制、作業療法士科を厚生労働省より認可され、開設する。
2010年	4月	神戸医療福祉専門学校三田校 言語聴覚士科を厚生労働省より認可され、開設する。